

三重県災害廃棄物対策図上演習について

1. 日時

平成 30 年 1 月 16 日(火) 10:00~17:00

2. 場所

三重県四日市庁舎 6 階 大会議室 (三重県四日市市新正 4-21-5)

3. 目的

南海トラフ地震等の際に生じる災害廃棄物処理については、様々な課題に対して迅速かつ的確な判断が必要となります。そこで本演習では、県・市町及び民間事業団体を対象に、災害廃棄物の処理過程を想定した参加型の演習を行い、対応力や関係者の連携向上、県や市町の災害廃棄物処理計画への反映を通じて、県全体の災害廃棄物処理体制の強化を図ります。

4. 内容

あらかじめ設定した地震災害(南海トラフ地震による地震及び津波)を想定し、「状況付与シート」等を用いて、県が策定している災害廃棄物の処理に関する業務手順書(平成 27 年度策定)に基づき、市町の災害廃棄物処理班(ごみ・し尿処理担当)として、一般廃棄物処理施設の被害把握、災害廃棄物処理量見込み、処理方針・計画立案、県・関係市町への応援要請、協定締結民間団体への協力依頼など、想定する様々な状況に対し、何をすべきか考えて対応します(手順書に示される各種様式、主要な協定書を運用する)。

項目	内容	
都市の設定	三重県内の都市(県下の仮想都市)を想定	
参加対象者・班構成	A 市(被災市=受援側:3班)、県(3班)、民間事業者等(1班)、コントローラー(4 班:対応する内容に従い機能別に役割分担) 合計100名(最大)	
想定時間	被害状況や廃棄物発生量がある程度把握可能な時点(発災後 3 日~10 日目程度)	
成果	災害廃棄物量	A 市の被害情報から A 市災害廃棄物処理計画に基づき算出(様式 5,6)
	仮置場	A 市災害廃棄物処理計画をもとに選定する(様式 8 等)
	施設の処理可能量	A 市災害廃棄物処理計画にもとづいて算出(様式 9,10,11 等)
応援協定	三重県で締結している応援協定書の運用(主要な協定書6つ程度)	

【演習の流れ】	【スケジュール】・・・[分]
<p>① A 市・県の対応事項を提示 (状況付与シート)</p> <p>② 対応を検討(回答:様式)</p>	<p>10:00~10:50 挨拶・話題提供[50] 10:50~11:50 演習のガイダンス[60] 11:35~11:50 作戦会議 11:50~12:50 昼食/準備[60] 12:50~13:50 図上演習(前半)[60] 13:50~14:00 休憩[10] 14:00~14:10 前半の解説[10] 14:10~15:10 図上演習(後半)[60] 15:10~16:40 発表、振り返り [90] 16:40~17:00 講評・挨拶[20]</p>

	役割分担	目指すもの
県職員	県関係部局との調整、市町・民間事業者等との連絡調整等	情報収集・整理、分析能力の向上、対応方針・目標設定に関する判断力向上、事務手順の把握(様式の活用、協定書の理解・運用等)
市町等職員	災害廃棄物発生量算出、仮置場の選定・開設、再資源化・処理計画策定、応援要請調整	
民間事業者 団体職員	災害廃棄物の収集・運搬・処理のための情報確認、現地状況への対応等	情報収集・整理能力及び情報連絡を通じた機動力の向上、協定書の理解